

TOPICS トピックス

経済産業省主管の健康経営優良法人認定取得へ向け
健康宣言をしました

松永建設ではこの度、「社員の予防や健康づくりに取り組む」ことを目的とした「健康宣言」を行いました。

近年では健康増進に戦略的に取り組むことで、社員のパフォーマンスやモチベーションを高めようとする「健康経営」が注目を集めています。経済産業省でも「健康経営優良法人認定制度」において、健康宣言を行っている事業者のうち、優良な健康経営を実践しているものを顕彰しています。

弊社では社員とその家族の健康づくりを支援するため、この認定の取得を目指し、積極的に健康づくりに取り組んで参ります！



IWATSUKI FESTIVAL 2023を開催しました！



8月20日、「人形のまち 岩槻まつり2023」で、今年も松永建設グループIWATSUKI FESTIVAL 2023を開催いたしました。今年には松永建設創業60周年の節目を迎えたこともあり、例年以上に豪華な出演者の方々をお迎えしての開催となりました！各ブースでは、かき氷や各種ドリンク、お祭りには欠かせない焼きそばやフランクフルトなど、各種フードをご提供させていただきました。

ステージでは、MoveWell様、さいたま商工会議所青年部の皆様、ゆう香&あい香様、西原梨央様・倉田りの様のヴァイオリンデュオ、TKRレースクイーンを務める清原れな様をゲストにお迎えて、迫力のあるパフォーマンスをご披露いただきました。また、毎年恒例の松永社長率いる「マツナガオヤジバンド」をはじめとした弊社社員のライブパフォーマンスも披露して、お客様も社員も一緒になって楽しむことができました。ご来場くださった皆様、誠にありがとうございました。



Matsunaga Head Line News

【マツナガ・ヘッドライン・ニュース】

〒339-0043 埼玉県さいたま市岩槻区城南五丁目6番6号 TEL:0120-980-633 FAX:048-798-0075

MATSUNAGA 感動創造建設会社



2023年11月発行 発行元:松永ホールディングス 発行人:松永大祐
www.matsunaga.gr.jp

2023 November Vol.52

持続可能な 未来のための 我々の挑戦



- CONTENTS
- 【INTERVIEW】インタビュー
P2 ZEBプランナーとして松永建設が目指すもの
 - 【PROPERTY】竣工物件
P3 「R3 利根川右岸大福田堤防工事」で難工事功労表彰
 - P4 M様邸／岩槻駅前クリニック
 - P5 グローリオシェルト飯田橋／泉工医科工業
 - 【TOPICS】トピックス
P6 健康経営／岩槻まつり／松永社長の男気コラム



松永社長の 男気コラム 【レースレポート特別編】

第5戦 もてぎで2位表彰台に！ 残り2戦も「表彰台はノルマ」として戦いたい



松永建設グループが応援する、片岡龍也選手率いるレーシングチームTKRI (Tatsuya Kataoka Racing Invitation)が、『ENEOS スーパー耐久シリーズ 2023 第5戦 もてぎスーパー耐久』に出場した。TKRIは出走したレースは、優勝した第3戦SUGOを含めすべて表彰台に上がっており、出走時点でのランキングは4位。昨年は序盤からトップを快走しつつも優勝できなかったレースだけに、「コースの借りをコースで返したい」ところだ。

予選は午前中から気温30度を超える中、ライバル勢のスピードが目立つ状況ながら、最終的にはドライバーたちの力走で4位を獲得した。

そして迎えた決勝、スタート直後は予選3位の車がペースを上げなかったこともあり、トラフィックに苦労したものの、8周目でオーバーテイク。さらに、11周目に2位へ浮上すると、19周目にはついにTKRIが首位に立つ。

その後、ドライバーの交代を経て、晩夏の戦いは最終スタントへ。この時点でTKRIは2位。3番手とのギャップは盤石だったことから、全力で首位の車を追うが、そのまま2位でチェッカーを受けることになった。

専有走行からスピードで苦労した今大会。予選4位から決勝で2位という結果は週末のすべてを出し切った結果だが、やはり一度勝つと欲が出てくる。昨年の借りは、やはり勝たないと返せない。

こまで、連続表彰台は「最低限のノルマ」として、次戦の岡山では今期2勝目を狙いたい。



今レースの
YouTube
動画はこちら



INTERVIEW インタビュー

持続可能な社会の実現へ向け SBT認証取得！本社ビルをZEB化！ 地域のリーディングカンパニーを目指す

国をあげた必須課題である『カーボンニュートラル』
そこで松永建設が果たす役割

国をあげての取り組みが行われているカーボンニュートラルにおける重要施策の一つとして、建築物の省エネルギー化が求められています。そこで注目されているのが、建物のエネルギー消費量を大きく削減できる「ZEB」です。そもそもZEBとは何なのか？そこで、松永建設が果たさなければならぬ役割について、法人営業部長の青木淳一と、営業企画部部長代理の増野勇岐が解説します。

SBT認証を取得、さらに本社ビルのZEB化

—— そもそも「ZEB」とは何か？ その概要について

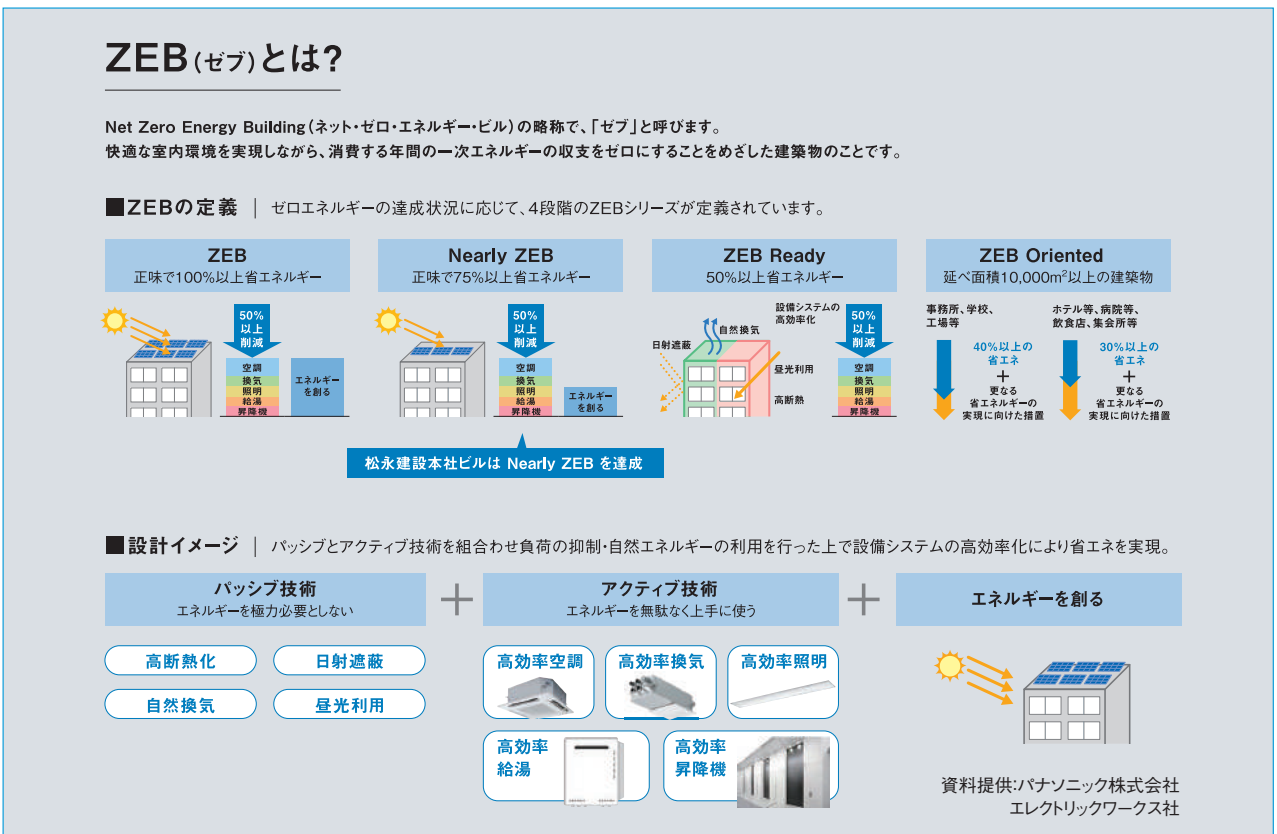
青木：松永建設では2023年春に中小企業版SBT (Science Based Targets) 認証を取得しました。これは、2015年のパリ協定に基づいて温室効果ガスの排出削減に向けた取り組みを行っている企業などを認証したもので、申請時にはその目標を設定します。松永建設では「2030年までに温室効果ガスの排出量を、2021年比で42%削減」することを目標としており、その実現に向けた取り組みの第一弾として本社ビルのZEB化に着手しました。

？ SBTとは
パリ協定における水準と整合するように企業が設定している、温室効果ガスの排出削減目標のことです。企業自身だけでなく、原材料の仕入れや輸送、販売する製品の使用や廃棄も含めた、事業全体での排出量が対象となっています。なお、SBTには通常版と中小企業向けの2種類があり、中小企業向けでは製品の使用や廃棄に伴う排出は範囲の対象外となっています。

ZEB (ネット ゼロ エネルギー ビルディング) とは、建物の使うエネルギーを削減するとともに (省エネ)、エネルギーを創ることで (創エネ)、一次エネルギー消費量を正味ゼロにすることを旨とした物件を指します。最近ではお客様も新築・築を問わずZEBへの関心が高まってきています。

この取り組みの発端となっているのがカーボンニュートラルですが、多くの企業やその関連事業者にも対応が求められています。例えば、SBT認証を取得している企業では、自社だけでなく、調達先や販売先などを含めた事業全体における、温室効果ガスの排出量削減が必要です。つまり、多くのサプライヤーにとっても、温室効果ガス削減が必須課題となり、その対策の一つとしてZEBが大きな役割を果たすことになりました。

現在では、具体的な環境基準を達成することが、企業にとっての社会的責任となっています。そのお手伝いとして、ZEBを始めとした環境設計や施工、今ある建築物を活かした環境リノベーションを通じて、こうした環境問題についてお客様と一緒に考えていくことが、これからの松永建設の役割だと考えています。



ZEBの実現にオーダーメイドで応える

—— 松永建設では環境問題について、どのような取り組みをしているのか？

青木：環境問題について、松永建設ではプロジェクトチームを発足し、前段のSBT認証のみならず、2022年には「埼玉県SDGsパートナー」およびさいたま市SDGs認証企業の認定も取得しております。また、ZEHビルダーやZEBプランナーの認定も取得し、本社ビルのZEB化や施工現場の省エネ化に取り組んでいます。

増野：ZEBプランナーとは「受注した建築物のうち、ZEBが占める割合を50%以上とすること」を事業目標に掲げ、ZEB実現に向けた相談や業務支援を受け付けている事業者のことを指します。松永建設ではZEBプランナーとしてお客様の良き相談相手となり、事前の調査から設計、施工、メンテナンスまでを一手に担うパートナーになることが、大きなミッションと考えています。

その先駆けとして本社ビルのZEB化に向けた改修工事を行いました。ZEBには省エネと創エネで年間の一次エネルギー消費量を正味ゼロまたはマイナスにする「ZEB」、エネルギー消費量を省エネと創エネで75%以上削減する「Nearly ZEB」、外皮の高断熱化や省エネ設備導入でエネルギー消費量50%以上削減する「ZEBReady」などの種類があります。本社ビルでは、主に太陽光発電システムによる創エネを行うとともに、照明や空調などの高効率な設備への交換、未評価技術として高効率なキュービクルや照明のソーニング制御の導入といった省エネによって、「Nearly ZEB」を達成しました。

本社ロビーにはモニターを設置し、エネルギーの見える化を行っています。こうした本社ビルでの取り組みを今後の施工に生かすとともに、実際の削減効果などを数値化して、お客様とも共有して行きたいと思っています。

今後は建築現場で利用する重機や工法などについても、環境

への配慮を模索していくことになるでしょう。こうしたカーボンニュートラルに向けた活動について、松永建設では地域のリーディングカンパニーとして取り組んでいきたいと考えています。

—— ZEBについて、お客様にはどのような提案をしていくか？

増野：まずは可能性調査を行い、大きな方向性を決めるところから始めます。新築の建物については、基本設計段階から費用対効果なども踏まえて、取捨選択をしていきます。既築の建物については、特に可能性調査が重要です。建物の用途や設備によって、手をつけた方が良い部分とそうでない部分の見極めが必要となります。お客様にとって最大限のメリットが得られるよう、またその後のメンテナンスを見据えた上でご提案させていただきます。

青木：ZEBはランニングコストを削減することもでき、現在は行政からの補助金もあるので、そのメリットやデメリットも含めてご説明させていただいています。ただし、各補助金には申請期間が定められており、競争率も年々高くなっているため、必ずしも採択されるとは限りません。どのタイミングで、どのような事を行うべきか？ そうしたコンサルティングについても、今後は積極的に取り組んでまいりますのでご期待ください。



法人営業部長 青木淳一
営業企画部 部長代理 増野勇岐

PROPERTY 竣工物件

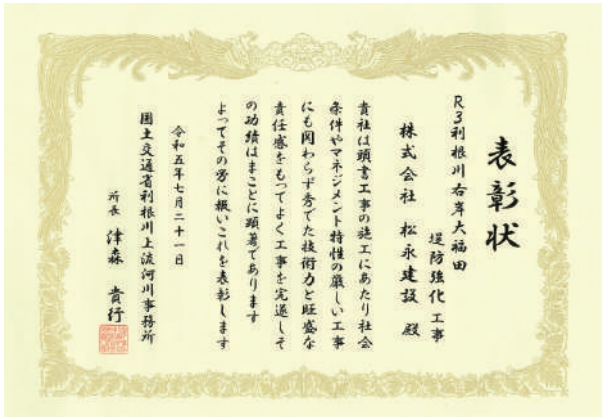
国土交通省関東地方整備局より 「R3 利根川右岸大福田堤防工事」が 「難工事功労表彰」「安全管理優良受注者表彰」を受賞



4号バイパスに隣接し、遊歩道も… 地域との連携が必要な現場に

国土交通省関東地方整備局より、「R3 利根川右岸大福田堤防工事」に対して「難工事功労表彰」を、さらに4つの現場に対して「安全管理優良受注者表彰」を頂きました。

この表彰は同局が発注した工事のうち、令和3年度に完成および完了したもののの中から、成績が優秀だった工事におくられるものです。このうち「難工事功労表彰」は、「特に社会条件やマネジメント特性の厳しい工事を対象とした『難工事指定』試行対象工事のうち、施工が良好であった他の模範とするに足るものを表彰する」ものとされており、技術の向上、円滑な事業の推進を目的としています。



▲ 「R3 利根川右岸大福田堤防工事」で「難工事功労表彰」を受けた

「R3 利根川右岸大福田堤防工事」では、茨城県五霞町の大福田地先における“首都圏氾濫区域域防の強化対策”として、川裏盛土工を行いました。現場は4号バイパスに隣接しており、川裏には畑や水田、家屋が点在するほか、遊歩道が供用されていました。このことから、道路の付け替えに伴う管理者・警察・地域住民などとの調整が必要で、築堤に伴う橋脚の保護も実施することから、難工事に指定されています。

今回の工事を行った土木事業部の担当者によると、施工範囲内に施工協議が必要な機関が複数あり、中でも五霞町は工事箇所の道路引渡し時期が決められていたこともあつ



▲ 工事を担当した土木事業部のメンバー

て、「道路に埋設された上下水道も合わせて引き渡す必要があったので工程調整に苦労しました」とのことです。

「施工箇所上空には154,000ボルトと500,000ボルトの送電線がありましたが、東京電力と送電線下の作業方法や安全隔離確保の対策などの施工協議を行った上で作業することで、事故もなく工事を行うことができました。他にも、施工箇所上部には国道4号バイパスの道路橋があったので宇都宮国道事務所と調整を行い、施工箇所地下50m

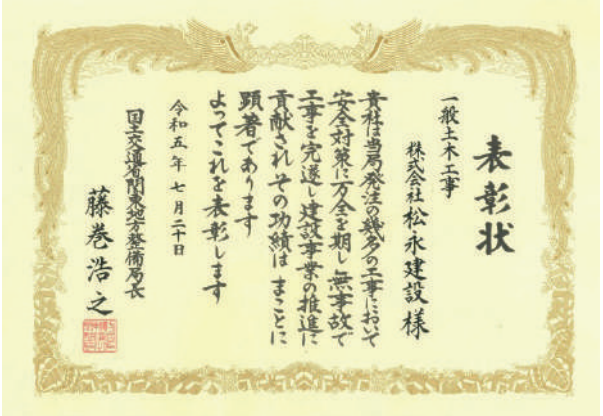


▲ 7月21日に行われた授賞式に、松永大祐社長も参席

にはガス管があったため東京ガスとも調整を行いました。各関係機関との工事調整を行い、トラブル無く工事を無事故で完成させたこと、また4週8休による働き方改革の実践や、遠隔臨場の現場試行を評価してもらえたのだと思います」(工事担当者)

—— 一方、「安全管理優良受注者表彰」の対象現場は以下の通りです。

- ・R3 利根川右岸大福田堤防強化工事
- ・R2 荒川右岸飯田新田地区堤防補強工事
- ・R1 思川右岸友沼堤防整備工事
- ・R1 利根川右岸常木築堤工事



▲ 4つの現場で「安全管理優良受注者表彰」を受けた

PROPERTY [竣工物件]



ZEH ▶ M様邸 ◀

〈 発注者：M 様 〉

DATA

□ 竣工年月：2023年3月 □ 規模／構造：2階建／木造
□ 延床面積：288.84㎡ □ 所在地：埼玉県

? ZEHとは

ZEHとは「net Zero Energy House」の略称で、ZEBと同じように断熱性や設備の効率化を高めることで、「エネルギー収支をゼロ以下にする」ことを目指した家を指します。



▲ 最新の運動機器等を備えた心臓リハビリテーション室



▶ 岩槻駅前クリニック ◀

〈 発注者：医療法人社団幸正会 岩槻南病院 様 〉

DATA

□ 竣工年月：2023年3月
□ 延床面積：737.77㎡ □ 所在地：埼玉県さいたま市岩槻区

PROPERTY [竣工物件]



▶ グローリオシェルト飯田橋 ◀

〈 発注者：あなぶきホームライフ株式会社 様 〉

DATA

□ 竣工年月：2023年2月 □ 規模／構造：11階建／RC造
□ 延床面積：975.44㎡ □ 所在地：東京都千代田区飯田橋



▶ 泉工医科工業株式会社 関東支店 新築工事 ◀

〈 発注者：泉工医科工業株式会社 様 〉

DATA

□ 竣工年月：2023年5月 □ 規模／構造：地上2階建／S造
□ 延床面積：616.00㎡ □ 所在地：埼玉県さいたま市岩槻区